

# 鶴岡・庄内を知る講座

庄内酒井家入部400年(2022年)を前に、庄内の歴史、文化、精神を学び、これからの新たな時代にむけて、私たちはどう歩んでいくべきかを考える機会にしよう」と開催した「鶴岡・庄内を知る講座」。3年目となる今回は「黒川能をテーマに、黒川春日神社下座能太夫の上野由部さんより3回シリーズでご講話いただきました。

講座の中で、上野さんは「能は武藤家が出羽守を拜命し、足利8代・義政に謁見に行った(1464年)頃、庄内に入ったのでは」とし、その後1622年の酒井家庄内入部以降は、藩主が鑑賞する「上覧」があり、装束や道具など必要なものをいただきながら続いてきた「黒川能」の歴史などを解説しました。

第2回の講話では、「王祇祭」は別名「とうふ祭」と呼ばれるほど多くの「豆腐」が食され、上座と下座では味付けが違うことなどを紹介。「食」は祭りには欠かせないもので、準備から祭り当日まで、地域の食材を使った精進料理や酒が多く振舞われる

ことを説明。続けて、鶴岡市はユネスコの「創造都市ネットワーク」に食文化の分野で初めて認められた(2014年)ことにも触れ、この「王祇祭」に関わる「食」も鶴岡の大切な文化のひとつになっているとしました。

最終回の講話で上野さんは「黒川の能は観客のためではなく、神にささげる能。だから演じ方を変える必要がなかった」と解説。その後、黒川能下座の皆さんによる舞囃子(能面や衣装を着けずに舞う)「岩船」を上演。約500年もの間、氏子たちの手によって連綿と伝承されてきた「神事能」を実際に鑑賞し、学びの深い講座となりました。



会場/東京第一ホテル鶴岡

**第1回**  
11/10(木)  
「黒川能の歴史」  
～酒井家との関わり～  
受講者/50名

**第2回**  
11/17(木)  
「黒川能と食」  
受講者/45名

**第3回**  
12/1(火)  
「能のはなし」  
上演:舞囃子「岩船」  
黒川能下座  
受講者/54名



黒川春日神社下座  
能太夫 上野 由部氏



上演:舞囃子「岩船」

## 11/16(火) 地元のお酒を使った 熱燗勉強会

当会議所では、DEGAM鶴岡ツウリズムムビューローと連携して取り組む「出羽三山詣」で食と銘酒で語らう旅「プロジェクト推進事業の一環として、冬季観光コンテンツの強化を図るため、市内の旅館や飲食店関係者を対象にした熱燗勉強会を開催しました。新潟県長岡市を拠点に各地で日本酒講座を開いている元蔵元を講師に迎え、料理を引き立てる熱燗の提供の仕方を学びました。

普段は絶対に熱燗にしない種類のお酒を温めたり、スパイスを加えたり、酒の肴にチーズや甘味を合わせてみたりする等、一つの実験の機会を提供することで参加者も多くヒントを得たようでした。

会議所ではアフターコロナを見据え、お客様満足度の高い新サービスの開発と、交流人口の増加ならびに観光関連消費の促進に努めてまいります。

**主催** 鶴岡商工会議所  
**協力** DEGAM鶴岡ツウリズムムビューロー  
**場所** 蔵屋敷LUNA  
**講師** 日本酒浪人/元「美の川酒造」蔵元 松本 英資氏  
**参加者** 9名



講師自ら熱燗 専用開発した 酒器「朱鷺燗」

主催/鶴岡商工会議所、鶴岡商工会議所観光部会

# 鶴岡市「酒井家庄内入部400年記念事業」協賛事業

令和3年度のまち歩きイベントは、来年に迎える酒井家庄内入部400年にちなんで、酒井家に関連した内容で2回実施しました。



2つのイベントの参加者には400年記念事業公式トートバックをプレゼントしました!

## 酒井家ゆかりのまちなかめぐり

市街地の酒井家ゆかりの地を訪れるまち歩きを企画。鶴岡市観光ガイドの案内で、歴代藩主のうち4人を祭る庄内神社、藩主の隠居所だった致道博物館の御隠殿、酒井家のかつての菩提寺・大督寺、旧庄内藩校致道館などを訪問しました。まち歩きには老舗料亭・新茶屋での「鶏飯」付き昼御膳や菓子店巡りも組み込み、まちなかの賑わい創出も演出。参加者の中には親子連れもあり、老若男女問わず楽しく美味しく酒井家に触れる機会となりました。

庄内神社  
鶴岡公園  
致道博物館  
大督寺  
新茶屋

藤田菓子舗  
久栄堂  
鷺田民蔵商店  
遠州屋  
致道館

令和3年  
11.28  
SUN.

## 歴史探訪 榊引めぐり

酒井家との繋がりがや新たな鶴岡の歴史を知ること、地元愛を育んでもらうため、歴史と文化溢れる榊引エリアを巡りました。国指定重要無形文化財の黒川能を今に伝える王祇会館や黒川地区の鎮守・春日神社、戦国武将・加藤清正公の嫡子忠広公が配流され加藤家終焉の地とされる丸岡城跡や天澤寺のほか、忠廣公とその母・正応院が眠る本住寺も訪問。老舗料亭・大多喜亭で地元旬の食材たっぷりの昼食を食べ、榊引にちなんだおやつももらい、参加者は全身で榊引の魅力を感じることができました。

当会議所では、酒井家庄内入部400年記念を契機とした更なる観光振興のため、来年度も鶴岡の新たな魅力を積極的にPRしてまいります。



本住寺では毎年、清正公の命日にちなみ7月24日に清正公祭を実施している

春日神社  
王祇会館  
丸岡城跡(楽朋館)  
天澤寺  
本住寺  
大多喜亭

丸岡城跡にある楽朋館で榊引観光ガイドの前田勝会長より解説を聞く参加者ら

おやつは佐久のシフォンケーキ、「えくぼ」のフランク、翁最中と、榊引の味覚満載!

## 買おか、食べよか、つつるおかスタンプラリー

会員事業所の店舗を巡り、買い物や飲食を楽しみながら店舗の魅力を再発見してもらうことを目的とした事業「買おか、食べよか、つつるおかスタンプラリー」を12月17日(金)から1月31日(月)の期間で開催。食堂やレストラン、すし店などの飲食店や生活用品や花、書籍などの小売店、理美容、写真店など149の店舗が参加しました。4つのスタンプが押された応募台紙がたくさん届いており、応募者の中から特賞の市内宿泊施設ペア宿泊券7本、2等〜4等のつるスタ賞の鶴岡名産品詰め合わせ100本を2月に抽選し、当選者に発送いたします。

